

新 郡市医師会長 インタビュー

第6回 大島郡医師会長 野村 壽和 先生

と き 令和2年7月9日(木)

ところ 野村医院

[聞き手：広報委員 岡山 智亮]



岡山委員 今回は平成31年1月に大島郡医師会長に就任されました野村壽和先生にお話を伺いたいと思います。本日はお忙しい中、お時間を取っていただき、大変ありがとうございます。

遅くなりましたが、改めてご就任おめでとうございます。まず、医師会長になられた経緯から聞かせていただいてもよろしいでしょうか。

野村会長 前会長の嶋元 徹 先生が急にお亡くなりになったこともあり、副会長であった私が会長として嶋元先生の仕事を引き継いだ形になります。副会長をしていたので、いずれは会長としての仕事が回ってくるのかなと思ってはいたのですが、あまりにも早かったので、まさかこんな展開になるとはといった心境です。どうか無事に1年間やってこられたかなとは思いますが、ただ、はじめは会長になってからも仕事のことが全然わからず、大島郡医師会は会長が事務局も兼ねることになっているので、会長としての仕事もそうですが、事務的なことも全くわからない状態で引き継いだので、最初はかなり戸惑うことが多かったです。かといって、嶋元先生もいらっしゃらないし、嶋元医院自体も閉院してしまっていたので、わからないことをどこに聞けばよいかもわからない状況でした。結局、柳井医師会及び熊毛郡医師

会の先生方や県医師会の事務局の方に教えていただきながら、どうにかこうにかやってきました。まだまだ先は不安なことが多いですけど。

岡山委員 事務局も兼ねるとなるとそれだけ仕事内容も多くて大変そうですね。会長に就任されて1年半くらいになるかと思いますが、先生の中で心境の変化はありますか。

野村会長 はじめは自分自身でやっていけるか不安しかなかったです。いろいろな会議に出席し先生方と話していくにつれて、どうにかこうにかやっていけるかなと思えるようになりました。大島郡医師会は会員数が少なく、なかなか次に手を挙げてくれる先生もすぐには出てこないと思うので、しばらくは頑張っていかなければならないという気持ちでいます。ただ、何年務めることになるのかなという不安な気持ちもあります。

岡山委員 医師会長としての任期に規定はありますか。

野村会長 大島郡医師会に関しては特に規定はないです。嶋元先生のお父様がかかなり長く務めておられましたし、そのあと川口先生、嶋元先生が歴

任されていますが、みなさん長く会長職をやってこられました。10年くらいはされている先生が多いです。

岡山委員 嶋元先生との思い出などありますでしょうか。

野村会長 先生はお酒がお好きだったので、公私ともにお付き合いさせていただいていました。あとは本当にパワフルで、バイクのレースが凄く好きだったみたいです。先生の最後のレースが岡山県で行われるということで観に行こうと言っていたのですが、当番医が重なってしまい残念ながら観に行けませんでした。あと、心残りなことが一つあって、お互い釣りが好きで、嶋元先生が「僕の船で釣りに行こう」と仰ってくれていたのですが、結局お互いの日にちが合わないまま行かずじまいになってしまったので、1回は先生の船で釣りに連れて行ってもらいたかったなという思いがあります。医師会活動に関しては今、自分がやってみて改めて思いますが、先生は凄く熱心で、なかなかあそこまでできる自信はないですが、見習っていかないといけないなと思っています。

岡山委員 私も嶋元先生のご活躍はいろいろところで見聴きすることがあり、パワフルという言葉がそのまま当てはまるような先生だったのだろうなと思います。

野村会長 立っているだけでもしんどいであろう自分の体をおして最後まで講演活動もされていたので本当に凄い先生だったと思います。

岡山委員 野村先生のパワフルなご活躍も陰ながらお祈りしています。

医師会員の数は何名くらいですか。

野村会長 31名です。そのうち開業医の先生が7名、あとは町立病院が3病院（今年から橘病院が地域医療構想計画で有床となった）と日良居病院など勤務医の先生が占めています。

岡山委員 医師会員の年齢構成はどうか。

野村会長 50～60代以上の先生が多いです。私が今54歳ですが、私より年齢の若い開業医の先生は2人くらいです。勤務医の先生も同じような状況なので、若い先生はあまりおられません。去年までは周防大島町立東和病院に自治医大の先生が1年周期でまわって来られていましたが、今年からまわって来られていないみたいなので、勤務医の先生の年齢も徐々に高くなってきているかなと思います。若い先生が帰ってくる予定も今のところはないようです。

岡山委員 そうなると後継者のこともこれから考えていかないといけない課題になってきますか。

野村会長 そうですね、考えていかないといけないと思いますし、どの医療機関も悩みどころではあると思います。

岡山委員 大島郡の人口はやはり減ってきている状況ですか。

野村会長 現在は1万6,000人程度かと思うのですが、徐々に減ってきています。出生数と死亡数を比較すると圧倒的に死亡数が多い状況ですね。

岡山委員 どうしても高齢化は進む方向になりますね。一時期は転入が多かった時期もあったかと思うのですが、現在はどうか。

野村会長 今は転出のほうが多いと思います。例えば、役場で働いている方なども住所は柳井だったりすることが多いと思います。ただ、少しずつ若い人が大島に移住されてきているので、そういったことがもう少し活発になってくると若い世代も増えるかと思っています。行政のほうでもそういった取組みはしているみたいです。小さいお子さんも少しずつ増えてきていると思います。

岡山委員 先生方が普段から幅広い年代に対して

医療を求められるような形にはなりませんね。

野村会長 私は基本的には大人の診察が主ですが、子供を診ることもあります。普段は多いというわけではないですが、インフルエンザのシーズンになると小さなお子さんがかなり来院されることがあります。私はもともと小児を診ることが多かったわけではないのですが、嶋元先生が亡くなられてからは、私も含め、それぞれの先生が小児を診る機会が増えたと思います。医学書を開いたり、小児科の先生に相談したりしながら診るようにしています。

岡山委員 郡内には小児科の先生はいらっしゃいますか。

野村会長 いらっしゃらないです。お子さんのいる家庭は郡外にかかりつけの小児科の先生を持っていると思います。ただ、平日の夜間や日曜・祝日とかそういった時には郡内で対応できるようにはしています。PR活動はしていますが、もう少し親御さんにそういったことを知ってもらわないといけないかなと思っています。小児救急に関しては親御さん向けに勉強会を1年に1回開いてはいますが、郡内で診察可能な症状かどうか判断の目安になるようなことを親御さんに知ってもらえるような勉強会などができたらいいのかなと考えています。

岡山委員 小児診療に対して医師会から勉強会などを開いてもらえると親御さんも安心して過ごせますよね。それ以外に医師会として行事などがあつたりしますか。

野村会長 在宅医療の講演会は年に2回開催しています。あとは行政の方と協力して大島医学会を毎年5月に開催していますが、今年は新型コロナウイルス感染症の関係で残念ながら中止にせざるを得なかったです。医学会自体は医療従事者だけでなく、後半は一般の住民の方にも聴いてもらえるような講演会を外部の先生に来てもらって行っているのですが、来年はぜひとも開催できたい

いなと思っています。

岡山委員 高齢化を考えると在宅医療の講習会も住民にとって重要なものですよ。郡内で介護職に携わるような人員は充足していますか。

野村会長 不足していると思います。高齢化率も高く、独居の方や老老介護の方も多いのでヘルパーさんの数はもっと増えてもいいのかなと思います。利用を望まれる方はかなり多く、うまく回ってない時もあります。高齢者の方もご家族が遠くに離れていると心配だから施設に入れるということもあると思うのですが、昨年の大島医学会での東近江市永源寺診療所（滋賀県）所長の花戸貴司先生の講演でもありましたが、やはり最期まで自分の家で生活させてあげたいという思いを持っています。そのためにもヘルパーや訪問看護師、あとは近所の方々にも協力してもらえるような環境作りができればいいのかなと思います。

岡山委員 イメージなのですが、郡内で言うと近所の人同士のつながりは強そうな気がします。

野村会長 そうですね、強いと思います。例えば、食事に関しても近所の方が差し入れしてくれたとかよく聞く話なので、そういったことをうまく活用できれば、皆さんが思うとおりに生活を送ってもらうことができるのではないかなと考えます。

岡山委員 地域の方同士で協力し合えることが何よりも心強いことかもしれませんね。私も普段、診療をしていて、患者さんの近所の方の助けがとても助かることがあります。

大島郡医師会の魅力と、改善すべき点があれば教えてもらえますか。

野村会長 そうですね、皆さんが地域にとって必要な在宅医療を熱心に対応してくださっている点はとても助かっています。改善点としては、いろいろな会議や研修会などに対して参加される先生がどうしても限られがちになっていて、勤務医の先生は特に自分の勤務などで時間が合わせにくい

部分もあるのかなとは思っています。ただ、勤務医の先生がもう少し参加していただけるようになれば、開業医と勤務医の連携もよりできてくるのかなと思うので、出席してもらいやすくするような工夫をしていかなければいけないなと思っています。

岡山委員 郡内で医師不足があるという感覚はありますか。

野村会長 医師不足とまではいかないと思います。旧4町のそれぞれの地域に開業医の先生もいらっしゃいますし、町立病院もあるので、少し距離は離れていて大変なところもありますが、人数として不足しているような感じはないと思います。

岡山委員 救急医療はどのような体制になっていますか。

野村会長 昔から在宅当番医制でやっています。昨年までは開業医のみで回していましたが、今年から町立病院の先生や郡外の先生で協力して下さる先生もいらっしゃって、当番の回数もかなり改善しました。こうして協力して下さる先生方には本当に感謝しています。課題の一つとしては、柳井の休日診療所に大島郡の方の受診が多いと言われているので、そこを改善できたらというところはあります。

岡山委員 夏や年末年始は帰省で大島郡に帰って来られる方も多いかと思いますが、今問題になっている新型コロナウイルス感染症に対して何か対策はとっていらっしゃいますか。

野村会長 住民向けには案内を出してはいます。ただ、今から寒くなる時期に向けて、他の感染症も増えてくる中で対応が難しくなると思うので、検討が必要だと思っています。

岡山委員 ここで、先生ご自身のことを聞かせていただいてもよろしいでしょうか。

野村会長 私は小中高と大島で過ごして大学は関東のほうに出ました。私がかもともと気管支喘息を患っていたこともあり、卒業してからはアレルギー科を重点的に学べる病院を探して3年半ほど研修医として勤務しました。予定としては5年の研修期間があったのですが、父親が早くに亡くなってしまったので3年半で大島に帰ることを決めました。急なことでしたので戸惑いながら帰ってきた感じです。わからないことも多かったので周りの先生にいろいろなことを教えていただきながらここまでやってこられたかなと思います。まあ、帰ってきたらきたで、楽しいことも多かったですけどね。

岡山委員 自由な時間にはどんなことをされていますか。

野村会長 スポーツ全般が好きです。あとは旅行が好きです。スポーツはやるほうに関しては体力的になかなか思うようにはできないですが、ゴルフは下手の横好きですがやっています。柳井の先生方に誘ってもらうことも多いのですが出席率はかなり悪く、申し訳ないと思っており、なるべく出るようにしたいなと思っています。スポーツは観るのも好きで東京オリンピックのチケットも当選したので楽しみにしていたのですが延期になってしまったので、もし、チケットが届けば大事にとっておきたいなと思っています。時間つぶしに釣りをすることもあります。あまり釣れないですね。

岡山委員 家から出てすぐそばで釣りもできそうで、確かに時間つぶしには最適ですね。

本日はお忙しい中、ありがとうございました。先生のこれからの活躍と大島郡医師会の発展を願いましてインタビューを終わらせていただきます。

補足：窓の外からは鳥のさえずりが常に聞こえ、とても癒される環境でのインタビューでした。野村先生の地域に対する思いも拝聴することができ、とても良い一日となりました。